

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	オーラルケア28(にいほち)プロジェクト		背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	保健医療局口腔保健支援センター	根拠法令		健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律
開始年度	令和3年度	行政計画		なし

<b>【事業概要】</b>		
対象	誰(何)を対象として行うのか ・乳幼児・学童期市民 ・成人期市民 ・高齢期市民	実施内容(手段)
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 28本(親知らずを除く)ある永久歯を生涯健康に保ち、健康寿命の延伸とWell-beingの向上につなげる。	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 治療よりも予防に重点をおき、世代ごとの特性に応じた歯科口腔保健の取組みを産学官オール福岡で実施。 ■プロジェクト全体の推進に関すること:福岡市歯科口腔保健推進協議会内に関係者WGを設置し、事業内容等検討 ■事業の実施 (乳幼児・学童期)ポケモンスマイルではみがき大作戦 (成人期)産婦歯科健診、SNSを活用した啓発、飲食店における歯科健診啓発マスクケースの配布 (高齢期)高齢者口腔ケア推進事業NEXT
成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 関係者で策定したアクションプランの計画期間が令和8年度までに設定されていることから、同年度に事業評価等を行ったうえで継続可否等を再検討する。	

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	・ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健推進の取組実施	・歯科健診受診 ・歯科口腔に対する意識の向上	・かかりつけの歯科医院をもち、定期的に歯科検診を受診する市民が増える。 ・セルフケアとプロフェッショナルケアの両立を実践する市民が増える。	・自身の歯を生涯保つ市民が増える。 ・口腔機能を維持している高齢者が増える。 ・市民の健康寿命が延伸する。 ・社会保障費の伸びが抑制される。 ・市民のWell-beingが向上する。
	指標の内容	実績	目標	実績
	年度	R2年度	R3年度	R4年度
新たな歯科口腔保健推進事業の創出数	-	3	6	R8年度
実績	-	5	11	65.0%
達成率	-	166.7%	-	-
目標	-	-	R 年度	R8年度
実績	-	-	-	-
達成率	-	-	-	-

		事業区分	重点
<b>基 本 計 画</b>			
施策コード	主 再	1-3-1 -	推進体制の構築 事業実施 <b>施策成果指標</b>
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	ライフステージに応じた健康づくり		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
歳出合計		14,963	
歳入	特定財源	726	
	一般財源	14,237	
前年度決算額・翌年度予算額			
年度		R2	R4
歳出合計		0	32,621
歳入	特定財源	0	522
	一般財源	0	32,099

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	医療・介護従事者等応援基金（通称：ありがとう基金）		<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
<b>所管課</b>	保健医療局医療事業課	<b>根拠法令</b>		福岡市医療・介護従事者等応援基金条例	新型コロナウイルス感染症に係る医療及び介護に従事する者等を支援し、感染拡大の防止並びに地域における医療提供体制の確保及び維持を図る必要が生じた。
<b>開始年度</b>	令和2年度	<b>行政計画</b>		なし	

### 事業概要

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 新型コロナウイルス感染症に対応する医療・介護従事者等	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・ふくおか応援寄付(ふるさと納税)制度を活用して募った寄付を基金に積み立て、医療・介護従事者等の支援事業に活用した。  ※基金積立額: R3 48,270千円(R2 256,512千円) ※基金取崩額: 上記と同額(R2も同様)	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか ・新型コロナウイルス感染症に係る医療・介護従事者等への特段の支援が必要なくなった場合 ・従事者等への支援事業の縮小・廃止や、新型コロナウイルス感染症に係る感染症法上の位置付けの見直しだが、終了検討の契機となる。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 基金を活用することで、上記の医療・介護従事者等において、感染の危険等による心身の負担なく安心して業務に従事できる状態を目指す。				

### ロジックモデル・指標の達成度

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>	
	ふくおか応援寄付を活用した寄付について、ホームページ等を活用し周知に努める。	医療・介護従事者等の支援事業に活用するための基金への積立を行う。	基金を医療・介護従事者等の支援事業に活用することで、医療・介護従事者等が安心して業務に従事する環境づくりに寄与する。	感染拡大の防止及び地域における医療提供体制の確保及び維持を図る。	
	<b>指標の内容</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	
	<b>活動の指標</b>	<b>年度</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>
	基金積立額(千円)	目標	260,000.0	10,000.0	R 年度
		実績	256,512.4	48,270.1	10,000.0
		達成率	98.7%	482.7%	未定
		目標			R 年度
		実績			
		達成率			

		事業区分	重点
<b>基本計画</b>			
<b>施策コード</b>	主 再	1-3-1 -	なし 施策成果指標
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
<b>施策</b>	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
<b>事業群</b>	ライフステージに応じた健康づくり		
行政運営プラン			
<b>取組方針</b>	なし		
<b>推進項目</b>			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計	48,271	
歳入	特定財源	48,271	
	一般財源	0	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	256,512	10,023
歳入	特定財源	256,512	10,000
	一般財源	0	23

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	特定健診事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	保健医療局総務部保険医療課	根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律		国の医療制度改革に伴い、平成20年度より医療保険者に実施が義務付けられたもの
開始年度	平成20年度	行政計画	特定健診・特定保健指導実施計画		

### 事業概要

対象	誰(何)を対象として行うのか 40～74歳の福岡市国民健康保険被保険者	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・特定健診受診率向上推進会議による取組み状況の共有等、各区と本庁の一体的な推進体制の強化。 ・DMや架電による個別勧奨、市政だより等による広報、医師会との連携による医療機関への受診促進依頼。 ・国保連のシステムを活用し、未受診者で治療中の人の検査データを収集し特定健診を受診したものとみなす「医療情報収集事業」を実施。 ・加入保険に関係なく、出かけるついでにさまざまな健診を受診できる「よしみち健診」を実施。	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 生活習慣病の発症及び重症化の予防により、市民の生活の質の維持・向上させるとともに、今後の医療費の伸びを適正化させるため、継続的に実施。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか メタボリックシンドローム該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする人を的確に抽出する。				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	・特定健診の実施 ・広報・啓発 ・受診勧奨 ・健診を受診しやすい環境づくり ・特定健診以外の健診データの活用	・特定健診受診率の向上 ・特定保健指導対象者の的確な抽出	・特定保健指導の実施により、生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症や重症化させる人の増加が抑制される	市民の生活の質が維持・向上されるとともに、医療費の伸びの適正化が図られる
	活動の指標	成果の指標(KPI)		

  

指標の内容	年度	実績		目標		成果の指標(KPI)
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	
特定健診受診率	目標	33.0%	35.5%	38.0%	R5年度	
	実績	25.3%	26.9%		40.0%	
	達成率	76.7%	75.8%		40.0%	
継続受診率	目標	66.0%	68.0%	69.0%	R5年度	
	実績	59.8%	63.1%		70.0%	
	達成率	90.6%	92.8%		70.0%	

		事業区分	重点
基本計画			
施策コード	主 再	1-3-1 -	施策成果指標 健康に生活している高齢者の割合 (60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	ライフステージに応じた健康づくり		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
歳出合計		686,106	
歳入	特定財源	231,763	
	一般財源	454,343	
前年度決算額・翌年度予算額			
年度		R2	R4
歳出合計		642,781	711,106
歳入	特定財源	202,521	242,329
	一般財源	440,260	468,777

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	特定保健指導事業・特定保健指導の遠隔実施モデル事業			<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
<b>所管課</b>	保険医療局総務部保険医療課	<b>根拠法令</b>	高齢者の医療の確保に関する法律		国の医療制度改革に伴い、平成20年度より医療保険者に実施が義務付けられたもの	
<b>開始年度</b>	平成20年度	<b>行政計画</b>	特定健診・特定保健指導実施計画			

### 事業概要

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 40～74歳の福岡市国民健康保険被保険者 特定健診の結果、特定保健指導の対象基準に該当した者	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・特定健診・特定保健指導等に関する連絡会議を開催し、受診率・実施率向上に向けた協議を実施。実態把握や、成功事例の共有などを目的に、医療機関ヒアリングを実施。 ・医療機関と対象者の負担軽減や利便性の確保を目的に、情報通信技術を活用した遠隔による特定保健指導をモデル事業として新たに実施。事業の効果検証により、今後の本格導入に向けた検討を実施。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 生活習慣病の発症及び重症化の予防により、市民の生活の質の維持・向上させるとともに、今後の医療費の伸びを適正化させるため、継続的に実施。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 保健指導実施により、生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症・重症化を予防する。				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>									
	・特定保健指導の実施 ・未利用者施策の実施 ・実施機関の負担軽減策の検討	・特定保健指導実施率の向上	・メタボ該当者や特定保健指導対象者が減少する	生活習慣の改善が図られ、生活習慣病の発症や重症化させる人の増加が抑制される									
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>				<b>目標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>				<b>目標</b>	
		<b>年度</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>最終年度</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>年度</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>最終年度</b>	
	特定保健指導実施率	目標	34.0%	36.0%	38.0%	R5年度		メタボ該当者の減少率	目標	未設定	未設定	未設定	R5年度
		実績	23.4%	29.3%	40.0%	達成率		実績	▲17.1%	▲19.5%	未設定	未設定	
		達成率	68.8%	81.4%	未設定	未設定		達成率	-	-	未設定	未設定	
		目標	-	-	-	-		腹囲-2cm、体重-2kgの改善が図られた者 ※遠隔実施モデル事業実施分	目標	-	未設定	未設定	R5年度
		実績	-	-	-	-		実績	-	44.0%	未設定	未設定	
		達成率	-	-	-	-	達成率	-	-	-	-	未設定	

		<b>事業区分</b>	<b>重点</b>
<b>基本計画</b>			
<b>施策コード</b>	主 再	1-3-1 -	<b>施策成果指標</b> 健康に生活している高齢者の割合 (60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
<b>施策</b>	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
<b>事業群</b>	ライフステージに応じた健康づくり		
<b>行政運営プラン</b>			
<b>取組方針</b>	なし		
<b>推進項目</b>			

<b>事業費(千円)</b>			
<b>令和3年度決算額(見込額)</b>			
歳出合計	42,312		
歳入	特定財源	45,263	
	一般財源	▲ 2,951	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
<b>年度</b>		<b>R2</b>	<b>R4</b>
歳出合計		36,811	74,449
歳入	特定財源	44,438	23,200
	一般財源	▲ 7,627	51,249



## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	軽症患者の搬送事業		<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
<b>所管課</b>	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>根拠法令</b>		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
<b>開始年度</b>	令和2年度	行政計画		なし

### 【事業概要】

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 新型コロナウイルス感染症の陽性者及び感染が疑われる者	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 軽症患者について、宿泊療養施設、あるいは医療機関等への移送対応ができる業者を探し、委託契約等を行った。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 宿泊療養する対象者を円滑に対象施設へ入所させ、安心して療養させたい。				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>
	宿泊療養する対象者を自宅から宿泊療養施設まで移送するための車両を公募する。庁内から車両を提供してもらう。	宿泊療養する対象者を移送するための車両が確保できる。	対象者は速やかに宿泊療養先へ入所することができ、安心して療養に専念できる。	新型コロナウイルス感染症の陽性者及び感染が疑われる者が安心して療養に専念できる。

  

	指標の内容	実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
		年度	R2年度	R3年度	R4年度			最終年度	年度	R2年度	R3年度	R4年度
活動の指標	120人移送に必要な車両8台を確保する。(バス2、ハイエース3、アルファード2、セレナ1)	目標	8	8		R 年度	/	目標	-	-		R 年度
		実績	6	8	8	8		実績	-	-	-	-
		達成率	75.0%	100.0%				達成率	-	-		
		目標						目標				
		実績						実績				
		達成率						達成率				

基 本 計 画		事業区分	重点
<b>施策コード</b>	主 3-7-3 再 -	<b>施策成果指標</b>	なし
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
<b>施策</b>	日常生活の安全・安心の確保		
<b>事業群</b>	感染症に強いまちづくり		
行政運営プラン			
<b>取組方針</b>	なし		
<b>推進項目</b>			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計	72,386	
歳入	特定財源	72,483	
	一般財源	▲ 97	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	31,127	114,445
歳入	特定財源	30,309	114,445
	一般財源	818	0

# 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	衛生資材購入・広報啓発（衛生資材購入）		背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
所管課	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	根拠法令		なし	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、衛生資材が市場で不足し、入手が困難となった。市内の各施設等において感染者やクラスターが発生した際や、通常業務で使用する衛生資材や必要となる衛生資材を独自に確保・備蓄する必要があるため。また、感染拡大防止に向けた取組みや注意喚起などの啓発を行う必要があるため。
開始年度	令和2年度	行政計画		なし	

## 事業概要

対象	誰(何)を対象として行うのか 【衛生資材購入】 市内の各施設(医療機関等)	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 【衛生資材購入】 緊急時に配布が必要と思われる衛生資材について、購入や国による供給等を活用しながら、不足することのないよう調達を行った。  ○購入実績(R3): マスク1,701,000枚、防護服類72,800枚など ○配布実績(R3): マスク5,800枚、防護服類7,555枚、手袋18,100枚など (医療機関や障がい者・高齢者施設等が対象)	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
	事業目的 対象をどのような状態にしたいのか 【衛生資材購入】 必要な衛生資材が不足することのない状態。				

## ロジックモデル・指標の達成度

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)		③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)		④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	活動の指標	【衛生資材購入】 衛生資材の購入および適切な保管場所の確保を行う。		【衛生資材購入】 緊急時に配布が必要となる衛生資材を常時、備蓄している状態を保つことができる。		【衛生資材購入】 各施設が、クラスターの発生や、必要な衛生資材を調達することが困難な状況となった際に、速やかに不足分の衛生資材を確保できる。		【衛生資材購入】 各施設等において、新型コロナウイルス感染拡大に対し、適切な感染防止対策が可能となる。

  

指標の内容	年度	実績		目標		成果の指標(KPI)
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	
【衛生資材購入】 前年度の払出実績の100%を購入	目標	0	7,320,815		R 年度	衛生資材不足に関する 相談時の配布率(%)
	実績	4,997,143	1,773,800	31,455	-	
	達成率	-	24.2%			
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					

		事業区分	重点
基本計画			
施策コード	主 3-7-3 再 -	なし	
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		施策成果指標
施策	日常生活の安全・安心の確保		
事業群	感染症に強いまちづくり		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計	18,518	
歳入	特定財源	18,518	
	一般財源	0	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	119,384	13,544
歳入	特定財源	44,830	13,544
	一般財源	74,554	0

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	衛生資材備蓄・広報啓発事業（広報啓発事業）			<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
<b>所管課</b>	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>根拠法令</b>	なし		新型コロナウイルス感染拡大に伴い、拡大防止に向けた取組みや注意喚気などの啓発を行う必要があるため。	
<b>開始年度</b>	令和2年度	<b>行政計画</b>	なし			

### 事業概要

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 市民や事業者	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 市民に対して、専用ホームページやSNS、市政だより、チラシ等により、新型コロナウイルス感染症の感染対策、福岡市での発生状況、相談窓口などの情報を様々な媒体を通して幅広く発信している。 また、感染状況に応じ、注意喚起の文書やチラシ等を直接送付するなどの対応も行っている。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が抑えられた状態				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>	
	新型コロナウイルス感染症の情報発信や啓発を行う。	新型コロナウイルス感染症の情報や感染対策等の啓発内容を知る。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止につながる行動を取る。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が抑えられる。	
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
<b>活動の指標</b>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
広報啓発の発信回数(市政だより、HP更新除く)	目標	39	20	R 年度	R 年度
	実績	39	34	35	-
	達成率	100.0%	170.0%		-
	目標				R 年度
	実績				
	達成率				

		事業区分	重点
<b>基本計画</b>			
<b>施策コード</b>	主 再	3-7-3 -	なし
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
<b>施策</b>	日常生活の安全・安心の確保		
<b>事業群</b>	感染症に強いまちづくり		
<b>行政運営プラン</b>			
<b>取組方針</b>	なし		
<b>推進項目</b>			

<b>事業費(千円)</b>		
<b>令和3年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		12,887
歳入	特定財源	12,887
	一般財源	0
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	R2	R4
歳出合計	0	10,155
歳入	特定財源	0
	一般財源	0

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	公費負担（保険適用検査）			<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
<b>所管課</b>	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>根拠法令</b>	感染症法第15条第3項及び第5項		地域の身近な医療機関で、新型コロナウイルスの感染が疑われる発熱患者等が、保険適用の検査を迅速かつ確実に受けられる体制を整備する。	
<b>開始年度</b>	令和2年度	<b>行政計画</b>	政策推進プラン			

### 事業概要

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 新型コロナウイルスの感染が疑われる発熱患者等	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○医師会会員については、医師会を通じて行政検査の委託契約に係る集合契約を締結し、医師会未加入の医療機関については、各医療機関と行政検査の委託契約に係る個別契約を締結した。 ○電話連絡せずとも手続きが電子で完了できるよう、行政検査の委託契約の締結方法等について福岡市HPに掲載した。 ○市HPに検査・診療ができる医療機関を掲載し、随時内容の更新をするとともに、広報課と連携して、より見やすくなるよう該当ページのデザイン等を改良した。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 新型コロナウイルスの感染が疑われる発熱患者等が、多くの地域の身近な医療機関で、保険適用の検査を迅速かつ確実に受けられる状態				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会を通じた医師会会員への周知</li> <li>・医師会未加入の医療機関への周知</li> <li>・契約手続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会会員の契約数(集合契約)の増</li> <li>・医師会未加入の医療機関の契約数(個別契約)の増</li> </ul>	保険適用の検査ができる医療機関の拡大	新型コロナウイルスの感染が疑われる発熱患者等が迅速・確実に検査を受けられる体制が整う	
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>
<b>活動の指標</b>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
医師会会員の契約数(集合契約)	目標	500	650	750	R 年度
	実績	576	697	-	-
	達成率	115.2%	107.2%	-	-
医師会未加入の医療機関の契約数(個別契約)	目標	50	50	50	R 年度
	実績	29	43	-	-
	達成率	58.0%	86.0%	-	-

基本計画			事業区分	重点
<b>施策コード</b>	主	3-7-3	<b>施策成果指標</b>	なし
	再	-		
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
<b>施策</b>	日常生活の安全・安心の確保			
<b>事業群</b>	感染症に強いまちづくり			
行政運営プラン				
<b>取組方針</b>	なし			
<b>推進項目</b>				

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計		1,999,334
歳入	特定財源		895,777
	一般財源		1,103,557
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	688,425	1,931,567
歳入	特定財源	294,722	948,536
	一般財源	393,703	983,031



## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	相談体制強化事業(新型コロナウイルス相談ダイヤル運営)		<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
<b>所管課</b>	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>根拠法令</b>		なし	
<b>開始年度</b>	令和2年度	<b>行政計画</b>		なし	

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 新型コロナウイルス感染症について相談したい市民や、市内の医療機関等	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 看護師等専門職を活用し「新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(受診・相談センター)」を委託し、運営した。 運用にあたっては、国や県の通知等に基づき適宜修正した相談対応マニュアルを従事者に渡し、相談者に寄り添った対応を心掛けるよう指導した。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか ・相談者の不安や要望等が解消された状態 ・必要な市民が適切に医療機関を受診し、検査が受けられる状態				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>
	看護師等の専門職により、24時間体制で新型コロナウイルス感染症に関する市民等からの相談を受ける。	相談者の不安や要望が解消され、必要な市民が適切に医療機関を受診し、検査が受けられる状態。	・市民等は安心を得ることができ、医療機関等は役割を果たすことができる。 ・適切に医療機関を受診し、検査が受けられる。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止につながる。

  

活動の指標	指標の内容	実績				目標		成果の指標(KPI)
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	R年度	
活動の指標	指標の内容	目標	-	-	-	R年度	-	活動の指標
		実績	-	-	-	-	-	
		達成率	-	-	-	-	-	
活動の指標	指標の内容	目標				R年度		活動の指標
		実績						
		達成率						

事業区分		重点
基 本 計 画		
<b>施策コード</b>	主 3-7-3 再 -	なし
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている	
<b>施策</b>	日常生活の安全・安心の確保	
<b>事業群</b>	感染症に強いまちづくり	
行政運営プラン		
<b>取組方針</b>	なし	
<b>推進項目</b>		

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
歳出合計		315,627	
歳入	特定財源	315,627	
	一般財源	0	
前年度決算額・翌年度予算額			
年度		R2	R4
歳出合計		159,668	370,061
歳入	特定財源	159,668	0
	一般財源	0	370,061

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	相談体制強化事業(保健所への専門職派遣)			<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
<b>所管課</b>	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>根拠法令</b>	なし		新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、保健所における業務が増加しているため、保健所の機能強化および職員の負担軽減を図ることを目的とし、民間の派遣事業者から看護師・保健師を各区保健所へ配置。	
<b>開始年度</b>	令和2年度	<b>行政計画</b>	なし			

### 事業概要

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 陽性者 保健所職員	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・競争見積合わせにより人材派遣事業者を決定し、一日あたり最大28名の専門職を派遣できる体制とした。また、感染動向を踏まえ、新規陽性者数の急増に対応するため、一日あたり最大45名まで増員できるよう契約変更等を行った。なお、令和4年1月以降のいわゆる第6波においては、契約事業者1社のみでは派遣人員が不足することから、緊急性があると判断し、随意契約により事業者を追加し(一日あたり最大14名)、体制の強化を図った。 ・各区保健所へ配置する人数については、陽性者数に応じて配分し、2週間ごとに各区保健所へ配置希望人数の照会を行い、必要人員の調整を行った。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 保健所が疫学調査や健康観察など、陽性患者や濃厚接触者の対応を迅速に滞りなく行うことができる状態。				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>	
	各区保健所へ配置された派遣職員が保健所職員の業務の一部を担う。	保健所職員の業務を遂行できる人員が増える。	保健所業務の停滞を防止し、保健所機能の強化・職員の負担軽減につながる。	陽性患者のフォローや疫学調査による濃厚接触者の特定等を迅速に行うことで、感染拡大防止につながり、市民の安全を守ることができるとともに、陽性者へ必要な医療を提供することができる。	
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>	
活動の指標	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
	目標	-	-	-	R 年度
	実績	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-
	目標				R 年度
	実績				
	達成率				

事業区分			重点
基本計画			
<b>施策コード</b>	主 3-7-3 再 -	<b>施策成果指標</b>	なし
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
<b>施策</b>	日常生活の安全・安心の確保		
<b>事業群</b>	感染症に強いまちづくり		
行政運営プラン			
<b>取組方針</b>	なし		
<b>推進項目</b>			

事業費(千円)		
令和3年度決算額(見込額)		
歳出合計		270,586
歳入	特定財源	110,990
	一般財源	159,596
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R2	R4
歳出合計	87,204	238,711
歳入	特定財源	117,496
	一般財源	▲ 30,292
		202,905

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	濃厚接触者等の検査事業			<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
<b>所管課</b>	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>根拠法令</b>	感染症法第15条		新型コロナウイルスの感染が疑われる濃厚接触者等に対して、迅速かつ集中的に検体採取を行う地域外来・検査センターを運営することで、市内の検体採取能力を確保し、その後の検査分析や感染者の治療等へ円滑に繋げていく
<b>開始年度</b>	令和2年度	<b>行政計画</b>	なし		

### 事業概要

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 新型コロナウイルスの感染が疑われる濃厚接触者や接触者、COCOA通知者など	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①地域外来・検査センターの運営 感染拡大期において土日や午前中の臨時開設を行った。 ②陽性者の同居家族等の検査を民間委託 緊急事態宣言対象地域など感染が大きく拡大している地域に指定されている期間において、令和4年1月から、陽性者の同居家族等の検査を医療機関で実施した。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 新型コロナウイルスの感染が疑われる濃厚接触者等に対し、市内の検体採取能力が十分確保され、その後の検査分析や感染者の治療等へ確実かつ迅速に繋げられる状態				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b> ①感染拡大期の検査対象者数を予測する。 ②感染拡大期の検査需要に対応する開設箇所や開設時間を確保する。 ③医療機関で陽性者の同居家族等の検査を実施する。	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b> ・最大開設時間の確保 ・陽性者の同居家族等が保健所の指示を待たず、医療機関で検査ができる	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b> ・十分な検体採取能力の確保ができる ・迅速に陽性者の同居家族等の検体採取ができる	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b> 迅速な検体採取・検査の体制を整えることで、陽性者の早期発見・治療に繋がり、感染拡大が防止される	
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>	
	<b>活動の指標</b>	<b>年度</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>
1日あたり最大開設時間	目標	30	30	R 年度	-
	実績	30	30	30	-
	達成率	100.0%	100.0%	-	-
同居家族等の検査数	目標	-	-	R 年度	-
	実績	-	16,613	(予測) 11,000	-
	達成率	-	-	-	-

事業区分		重点
<b>基本計画</b>		
<b>施策コード</b>	主 3-7-3 再 -	<b>施策成果指標</b> なし
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている	
<b>施策</b>	日常生活の安全・安心の確保	
<b>事業群</b>	感染症に強いまちづくり	
<b>行政運営プラン</b>		
<b>取組方針</b>	なし	
<b>推進項目</b>		

<b>事業費(千円)</b>			
<b>令和3年度決算額(見込額)</b>			
	<b>歳出合計</b>	820,477	
<b>歳入</b>	特定財源	261,629	
	一般財源	558,848	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
	<b>年度</b>	<b>R2</b>	<b>R4</b>
	<b>歳出合計</b>	206,718	590,387
<b>歳入</b>	特定財源	173,337	284,819
	一般財源	33,381	305,568

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	検体搬送業務			<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か				
<b>所管課</b>	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>根拠法令</b>	なし		新型コロナウイルス感染症の拡大により、各保健所において積極的疫学調査や健康観察業務などの業務が激増しているため、従来、保健所で行っていた検体搬送業務を委託事業にすることで、保健所負担を軽減し、迅速な検査分析に繋げていく。				
<b>開始年度</b>	令和2年度	<b>行政計画</b>	なし						

### 事業概要

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 濃厚接触者や接触者等に対し、市内の地域外来・検査センターや医療機関で行政検査として採取され、搬送を依頼された検体	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・適切な検体搬送を行うための事業者選定を実施 ※民間事業者による信書の送達に関する法律に定める特定信書便事業のうち、第1号役務の許可を得ていること ※WHOのカテゴリBに分類される臨床検体等の取り扱いができること ・日々の検体回収に関するルート設定	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 検体を安全かつ正確に検査施設である保健環境研究所へ搬送し、迅速に検査分析を実施する。				

### ロジックモデル・指標の達成度

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>								
	・検体等の取扱い条件を満たしているか、第1号役務の許可を得ているかなど、様々な条件を考慮し、適切な検体搬送を行うための事業者選定を実施する。	市内の地域外来・検査センターや医療機関で採取された検体を依頼に応じて回収し、検査実施機関である保健環境研究所へ安全に搬送する。	搬送された検体が確実に保健環境研究所で検査される。	判明した検査結果に基づき、各保健所の医師による確定診断が行われ、受検者が新型コロナウイルスに感染しているのかを確定する。陽性者については、保健所が疫学調査を踏まえて入院や宿泊療養などの措置を行うことで、感染拡大を防止することとなり、市民の安全を守ることに繋がる。								
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
		年度	R2年度	R3年度	R4年度		最終年度		年度	R2年度	R3年度	R4年度
	1週間あたりの搬送日数	目標	6	6	6	R 年度		目標	-	-	-	R 年度
		実績	6	6	6	-		実績	-	-	-	-
		達成率	100.0%	100.0%	-	-		達成率	-	-	-	-
		目標				R 年度		目標				R 年度
		実績						実績				
		達成率						達成率				

		事業区分	重点
<b>基本計画</b>			
<b>施策コード</b>	主	3-7-3	なし
	再	-	
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
<b>施策</b>	日常生活の安全・安心の確保		
<b>事業群</b>	感染症に強いまちづくり		
<b>行政運営プラン</b>			
<b>取組方針</b>	なし		
<b>推進項目</b>			

<b>事業費(千円)</b>			
<b>令和3年度決算額(見込額)</b>			
歳出合計		5,485	
歳入	特定財源	5,287	
	一般財源	198	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
年度		R2	R4
歳出合計		7,049	9,980
歳入	特定財源	5,630	4,988
	一般財源	1,419	4,992



## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	出張PCRセンター			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か				
所管課	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	根拠法令	なし		感染拡大、クラスター発生防止のため、感染者が出た介護施設や学校等については、効率的かつ機動的に検査を実施する必要があるが、保健所職員による検査の実施は業務負担増となるため、検体採取を行うことができるPCR検査車両を活用した出張検査を取り入れるもの。				
開始年度	令和2年度	行政計画	なし						

### 事業概要

対象	誰(何)を対象として行うのか 介護施設、学校、保育園等	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・事業フローや出張PCR検査依頼書を準備し、各保健所に周知することにより、スムーズな運営を行った。 ・急な依頼にもできるだけ速やかに対応できるよう、医師・看護師を確保する市医師会との調整を行った。 ・検査結果等を速やかに保健福祉局新型コロナウイルス感染症対策担当へ報告するよう依頼した。	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 機動的かつ効率的に検査を実施し、感染拡大を防止する。また、保健所の負担軽減を図る。				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	保健所から依頼を受けた対象施設に、市医師会と調整の上、医師・看護師を派遣し、検体採取を行う。	検査対象者(対象施設)の一斉検体採取が実施される。	機動的かつ効率的に幅広い検査を実施することにより、感染者を早期発見することができ、感染拡大を防止できる。また、保健所の負担軽減にも繋がる。	市中感染拡大を防ぐことにより、市民が安全な生活を送ることができる。	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
活動の指標	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
出張回数	目標	34.0	80.0	R 年度	R 年度
	実績	61.0	88.0	106.0	-
	達成率	179.4%	110.0%		-
	目標				R 年度
	実績				
	達成率				

事業区分				重点	
基本計画					
施策コード	主	3-7-3		施策成果指標	なし
	再	-			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている				
施策	日常生活の安全・安心の確保				
事業群	感染症に強いまちづくり				
行政運営プラン					
取組方針	なし				
推進項目					

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計	14,733	
歳入	特定財源	11,776	
	一般財源	2,957	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	7,851	21,808
歳入	特定財源	3,066	10,903
	一般財源	4,785	10,905

# 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	医療施設従事者検査事業		<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
<b>所管課</b>	保健医療局地域医療課	<b>根拠法令</b>		令和2年9月15日付け厚生労働省事務連絡に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ハイリスク施設である医療施設の従事者を対象に検査を行うことを目的として開始。
<b>開始年度</b>	令和2年度	行政計画		なし

## 【事業概要】

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか ○医療施設の従事者	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○抗原簡易キットを使用し、週1回程度のスクリーニング検査を実施。 ○各施設への抗原簡易キットの配付のほか、施設からの問合せ対応や検査実績の取りまとめ・報告等、検査事業にかかる業務を一括して民間事業者へ委託。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 終了 新型コロナウイルス感染症が終息し、クラスターの発生や感染拡大への対策を行う必要が無くなった状態。 継続 国の方針等により、行政検査として、施設従事者等への頻回検査を要請されている状態。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 医療施設内において、感染拡大防止のために、新型コロナウイルス感染症の定期的な検査を実施することの重要性が認知され、多くの施設で定期的な検査が実施されている状態。				

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>								
	対象施設に対する定期的な検査事業を計画するとともに、本検査事業を活用した積極的な検査の実施を呼びかける。	対象施設が本検査事業の存在や検査の重要性を知ることができる。	多くの対象施設において、定期的な検査が実施される。	陽性者が早期に発見され、治療・隔離を行うことで、施設内でのクラスターの発生や感染拡大が未然に防止される。								
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	定期的な検査の実施を呼びかけた医療施設数	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	定期的な検査を実施している医療施設の割合	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
		目標	2,787	2,814		R 年度		目標	2,787	2,814		R 年度
		実績	2,787	2,814	2,866	-		実績	321	701	2,866	-
		達成率	100.0%	100.0%				達成率	11.5%	24.9%		
		目標				R 年度					R 年度	
		実績										
		達成率										

		事業区分	重点
<b>基本計画</b>			
<b>施策コード</b>	主 再	3-7-3 -	施策成果指標 なし
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
<b>施策</b>	日常生活の安全・安心の確保		
<b>事業群</b>	感染症に強いまちづくり		
<b>行政運営プラン</b>			
<b>取組方針</b>	なし		
<b>推進項目</b>			

<b>事業費(千円)</b>			
<b>令和3年度決算額(見込額)</b>			
	歳出合計	628,902	
<b>歳入</b>	特定財源	310,311	
	一般財源	318,591	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
	年度	R2	R4
	歳出合計	0	58,380
<b>歳入</b>	特定財源	0	29,190
	一般財源	0	29,190

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	健康観察等フォローアップ事業		背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
所管課	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	根拠法令		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	
開始年度	令和2年度	行政計画		なし	

### 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 新型コロナウイルス感染症陽性者	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 自宅へ生活必需品(食料品・日用品)を配布するため、柔軟に速やかに対応できる業者を探し、委託契約等を行った。	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか やむを得ず自宅で療養する新型コロナウイルス感染症の陽性者が、安心して療養できるよう必要最低限の物資を提供する。				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)								
	生活支援セットを配布するため、生活支援セットを提供できる業者とそれを配布するための業者を見つける。	自宅療養する対象者へ必要最低限の生活支援セットを配布することできる。	自宅療養者が安心して療養に専念できる。	新型コロナウイルス感染症の陽性者及び感染が疑われる者が安心して療養に専念できる。								
活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)								
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
	対応出来る物資提供者と物資配送業者を見つける	目標	2	2		R 年度	対象者全員へ生活支援物資を配布する	目標	100.0%	100.0%		R 年度
		実績	2	5	2	-		実績	100.0%	100.0%	100.0%	-
		達成率	100.0%	250.0%				達成率	100.0%	100.0%		
		目標				R 年度		目標				R 年度
		実績						実績				
		達成率						達成率				

		事業区分	重点
基本計画			
施策コード	主	3-7-3	
	再	-	
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
施策	日常生活の安全・安心の確保		
事業群	感染症に強いまちづくり		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)	
令和3年度決算額(見込額)	
歳出合計	428,299
歳入	特定財源 428,284
	一般財源 15
前年度決算額・翌年度予算額	
年度	R2
歳出合計	4,241
歳入	267,642
	特定財源 4,218
	267,642
	一般財源 23
	0

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	新型コロナウイルス感染症対策の運営経費			<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
<b>所管課</b>	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>根拠法令</b>	なし		各区健康課や保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当においては、新型コロナウイルスが市内で発生後、同ウイルスの感染対策等を開始した
<b>開始年度</b>	令和2年度	<b>行政計画</b>	なし		各区健康課や同対策担当が、感染症対策を円滑に行うための物品等の購入や、人材派遣を活用

### 事業概要

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 各区健康課、保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・物品等の購入費用や、陽性者への健康観察等の電話に係る費用等の各区健康課等への配分や、職場環境を改善するためインターネット環境等の整備を行った ・同担当の補助業務について、人材派遣を活用し実施した	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 新型コロナウイルス感染症対策を円滑に行える状態				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>	
	新型コロナウイルス感染症対策のための、物品等の購入や人材派遣契約を締結	新型コロナウイルス感染症対策を円滑に行える職場環境が整備される	新型コロナウイルス感染症対策を円滑に行うことができる	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止につながる ・職員の負担軽減等につながる	
<b>活動の指標</b>	<b>実績</b>		<b>実績</b>		
	<b>指標の内容</b>	<b>年度</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>目標</b>
		<b>R4年度</b>	<b>最終年度</b>		<b>成果の指標(KPI)</b>
		目標	R 年度		
		実績	-	-	-
		達成率	-	-	-
		目標			R 年度
		実績			
		達成率			

		事業区分	重点
<b>基本計画</b>			
<b>施策コード</b>	主	3-7-3	
	再	-	
<b>分野別目標</b>		安全・安心で良好な生活環境が確保されている	
<b>施策</b>		日常生活の安全・安心の確保	
<b>事業群</b>		感染症に強いまちづくり	
<b>行政運営プラン</b>			
<b>取組方針</b>		なし	
<b>推進項目</b>			

<b>事業費(千円)</b>			
<b>令和3年度決算額(見込額)</b>			
<b>歳出合計</b>		58,201	
<b>歳入</b>	特定財源	35,061	
	一般財源	23,140	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
<b>年度</b>		<b>R2</b>	<b>R4</b>
<b>歳出合計</b>		0	74,133
<b>歳入</b>	特定財源	0	12,088
	一般財源	0	62,045



## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	消耗品購入(福岡市保健環境研究所検査)			<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
<b>所管課</b>	保健医療局新型コロナウイルス感染症対策担当	<b>根拠法令</b>	感染症法第15条第5項		福岡市保健環境研究所の検査分析に必要な試薬、PPE等を十分に確保することで、検査対象である濃厚接触者や接触者、COCOA通知者等の検体を迅速かつ確実に検査できる環境を整える。	
<b>開始年度</b>	令和2年度	<b>行政計画</b>	なし			

### 事業概要

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか 福岡市保健環境研究所	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○急速な感染拡大により行政検査数が当初の見込みを大幅に超えたため、検査分析に必要な試薬代にかかる予算を確保し、福岡市保健環境研究所での検査分析が円滑に行える環境を整えた。 ○急速な感染拡大により行政検査数が福岡市保健環境研究所の検査能力を大幅に超えたため、一時的に民間検査機関へ検査分析を一部委託し、迅速かつ確実に検査できる環境を整えた。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 感染症法上の見直しや、新型コロナウイルス感染症の対応方針が見直された場合は、事業終了予定。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 福岡市保健環境研究所の検査分析に必要な試薬、PPE等を十分に確保することで、検査対象である濃厚接触者や接触者、COCOA通知者等の検体を迅速かつ確実に検査分析できる環境が整っている状態				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>							
	保環研検査の見込み数に応じた検査試薬等の予算を確保する	保環研検査の見込み数に応じた検査試薬等の予算が確保される	検査分析から結果判明が当日中に行われる	迅速・適切な検査により、陽性者の早期発見・隔離・治療に繋がり、感染拡大が防止される							
<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
		<b>年度</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>		<b>R4年度</b>	<b>最終年度</b>	<b>年度</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>
	保環研検査数	目標	134,071	28,870	66,930	R 年度	検査分析から結果判明にかかる日数	目標	1	1	R 年度
		実績	46,827	57,875	66,930	66,930		実績	1	1	1
		達成率	34.9%	200.5%				達成率	100.0%	100.0%	1
		目標				R 年度		目標			R 年度
		実績						実績			
		達成率						達成率			

事業区分			重点
<b>基本計画</b>			
<b>施策コード</b>	主 再	3-7-3 -	なし なし
<b>分野別目標</b>	安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
<b>施策</b>	日常生活の安全・安心の確保		
<b>事業群</b>	感染症に強いまちづくり		
<b>行政運営プラン</b>			
<b>取組方針</b>	なし		
<b>推進項目</b>			

<b>事業費(千円)</b>		
<b>令和3年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計	426,367	
歳入	特定財源	107,813
	一般財源	318,554
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	R2	R4
歳出合計	131,009	368,115
歳入	特定財源	230,749
	一般財源	▲ 99,740 184,058